

バラの定植

Q. 庭にバラを植えたいと思います。品種の選び方、植え方を教えて下さい。

A. 定評のある品種を選んで、株が休眠している間に植えます。

<ポイント>

初めてバラを植える方は、古い品種の中から丈夫で、花つきのよい品種を選んで、大苗を12月の初めに植えて下さい。

1. 品 種

新品種は評価が定まっていないので避けます。

古い品種でもクリスチャン・ディオール(赤)、ピース(黄に桃覆輪)、クイーン・エリザベス(桃)、アイス・バーグ(白)、シャルル・ド・ゴール(淡青)などは育てやすく、よい花が咲きます。

2. 植え方

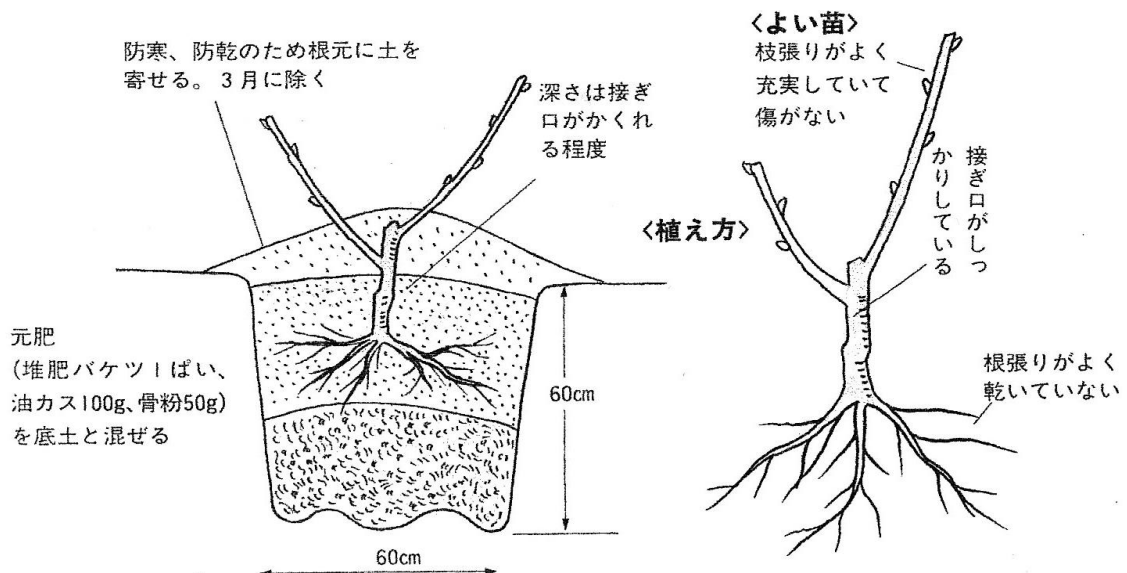
12月には春に接ぎ木をした大株(大苗)が出回ります。これを植えれば、確実に明年の春に開花します。植える場所を深さ60cm、直径も60cmくらいに掘って、下の半分くらいの層に乾燥牛糞などをバケツ1杯と緩効性化成肥料を150g入れて、土とよく混ぜておきます。

水はけの悪いところでしたら、さらに深く掘って鉢欠けや小石を入れるとよく育ちます。

苗はあまり大きく、太くない、小さくても締まっていて、接ぎ口のしっかりした根張りのよいものを求めます。

充実した枝を3本くらい主枝として残し、30cmほどに切り詰め、病気をふせぐためにトップジン-M1500倍液を散布しておきます。

植える深さは接ぎ口が地面にかくれるくらいが標準です。下土の上に苗の根を広げて置き、深さを調節しながら土を入れて、根元を踏み固めます。水を与えてからしばらくおき、水がすっかりひいたら、防寒、防乾のために土を根元に盛り上げます。これは、春に除きます。



カイワレダイコンの育て方

Q. 浅い容器に紙ナプキンを敷いてまきましたが、軸が長く伸びません。

A. 小さな容器で育てるとどうしても伸びが悪いものです。

紙ナプキンにまくと、根が絡んで浮きあがりやすく軸の伸びも悪くなります。大きめの容器に用土を厚さ 1~2cm 入れてまきます。

＜ポイント＞

タネを 1 昼夜水に漬け、くっつくほど厚まきにして軸が 2cm くらいに伸びるまで薄い板で押えるのがコツです。

1. 品 種：普通のダイコン、ラディッシュ
2. 容 器：イチゴやトウフの空容器、紙コップなど。
3. 用 土：バーミキュライト、パーライト、スポンジ、紙ナプキン
(3枚重ねる)。
4. まき方：容器の前面にタネがくっつきあう程度に厚まきする。
5. タネの水浸漬：タネは 1 昼夜水に漬けて、十分水を吸わせてからまく。
6. 水やり：タネまき前に用土は十分水を吸わせておく。タネまき後も水を切らしてはいけない。
7. 排 水：水がたまらないように容器の底に孔をあける。
8. 覆 土：覆土は不要。
タネの上から厚さ 1cm ほどの板をのせておく。
9. 緑 化：収穫 2 日前(草丈 5~6cm のころ)に光を当てて子葉を緑化する。
10. 収 穫：胚軸が 5~6cm に伸び、子葉が開いたころ。

